

上昇気流



令和3年

4月19日(月)

【No. 5】

『気持ちのよいあいさつ』

新学期も3週目を迎えています。クラスの仕組みも決まり、第1回専門委員会も行われ、今日からは正規時間割りも始まりました。段々と学校生活が整っていきますね。さらには現在、部活動には1年生が仮入部にきています。今週1週間の活動で、どの部に入部するかを決める人が多いと思います。それぞれの部活動の楽しいところや、やりがいのあるところを教えてあげるのももちろんのこと、辛い部分や苦しい部分もきちんと伝えてあげるようにしましょう。



ところで、1年生の様子を見ていて気づいたことがあります。それは、廊下や階段ですれ違ふと、元気よくあいさつをしていることです。休み時間や下校時に、廊下に立って生徒たちに声をかけていますが、1年生のあいさつがひととき大きいのです…。授業での様子は直接は見たことはありませんが、1年生の先生たちに話を伺ってみると、やはり元気よくあいさつをしているそうです。

そういえば、みなさんも1年前はもっと元気のよいあいさつを交わしていましたね…。廊下でも階段でも教室でも、気持ちのよいあいさつが自然とできていたように思われます。それが、2学期、3学期と進むにつれて、段々と声が小さくなったり、聞こえなくなってしまいました…。この学年のみんなは、昨年度の1年間で、本当にいろいろな面で成長できました。ほとんどのことが、入学当初から比べると大きな進歩を遂げていますが、逆にいくつか失ってしまったこともあります。今回取り上げた「あいさつ」も、そのうちのひとつではないでしょうか…。

さて、2年生に進級して新しいクラスになり、あなたの周りのあいさつの様子はどうですか？朝の「おはようございます」、昼の「いただきます」「ごちそうさまでした」、帰りの「さようなら」、声に出してあいさつができているでしょうか。それから、授業の始めと終り、教科担任の先生とのあいさつはどうですか？なにも、決して大声でなくてもいいのです。自然な大きさと、ちゃんと“声に出して”あいさつするというのを大切にしましょう。相手の人が声に出してあいさつしているのに、自分が無言というのは、考えてみると実に不自然な状態だと思いませんか…？

これからは、部活動や委員会などで、先輩はもちろん、後輩たちともあいさつを交わす機会も増えるでしょう。気持ちのよいあいさつが自然に飛び交うような、和やかな雰囲気のある学年、学校を築いていきましょう！

◎「授業の前後のあいさつは号令のかけ方も重要じゃぞ。担当のみんな、頑張るのじゃ！」